

ITを創刊したと発表し、グループのIT戦略や具体的な取り組みを紹介している。ITパフォーマンスに関するレポートとしては、鋼業界では初。毎年発行を予定している。ホームページでも公開し、株主、投資家などに対して、JFEグループ



業界で初となる製鉄設備メンテナンス業務へのAI導入の取り組みなどを紹介。エンジニアリング事業では、AI技術を活用した各種プラントの遠隔操作支援を統括する「グローバルリモートセンター」の

東京みらい 下期方針提

橋本総業

管工機材流通大手の橋本総業（本社＝東京都中央区、橋本政昭社

方針提案会を東京都台東区の浅草ビューホテルで開催した。橋本総業の仕入先メーカーや販売先企業から約160人が参加した。冒頭、東京みらい会の会員企業を代表し、シンエイネクススの宮本忠昌社長と、TOTOの海瀬克紀東京支社副支社長があいさつし

CR活動などを報告した。当社のミッションは設備商品の流通とサービスを通じて、快適を目標していく。今日参加しているみらい会会員企業の皆様とともに、栄えるをキーワードに増分活動（目標・行動・成果の共有化）に取り組ん



橋本社長

シンニチロ VR技術で職場体験 人材確保・技能伝承に活用



奥山社長

【岡山】JFEスチール西日本製鉄所でコークス炉、製鉄関連の操業や保全を行うシンニチロ（本社＝岡山市、奥山順一社長）はこの

で、作業現場を疑似体験できるVRコンテンツ「シンニチロVR」を開発した。会社説明会などでVRを通じ製鉄業を支える仕事の魅力を伝え、人材確保につなげたい考えだ。VR技術は技能伝承にも高い効果が見込まれることから、将来的には人材育成での活用も目指す。

シンニチロVRは、セラミック溶射によるコークス炉メンテナンスの様子や、高炉出鉄孔から出た銑鉄を流す種材を工場内で溶接し補修する場面を間近で「見る」ことができる。通常の工場見学では安全対策などから、至近距離まで近づくことは難しいが、VRでは職人の真横での作業見学が可能だ。

VRのメリットは臨場感。ゴーグル型の端末を使うことで現場を360度見渡したり、作業の迫力を感じたり、従来の企業紹介映像などとは異なり現場のイメージを明確に伝えることができる。映像には女性リポーターが登場し、分かりやすく作業の内容などを紹介する。見る側と映像との橋渡し役だけでなく、今後の女性採用の拡大も意識している。

すでに企業説明会や学校訪問の際にVRを使った企業PRを数回実施した。ものづくりの魅力や仕事の中身を



シンニチロVRの映像（ジョリーグッド提供）

具体的に紹介できたことで、シンニチロや鉄鋼業に興味を持つ学生が増えているという。複数の企業が並ぶ合同説明会などでは注目を集めやすいという利点もある。

シンニチロではJFEスチールのバックアップを受けながら採用活動を行ってきたが、最近では計画通りの採用が難しくなっている。岡山県ではJFEや水島コンビナートの知名

度は高く数年前まで応募は多かったが、企業が採用定員を増やす中、製造業のイメージや安全面の不安が応募者の減少を招いているとみて、新技術を使う「現場を体験できる」採用活動を始めた。実際に近い現場を目にすることで、終業後のミスマッチを防ぐ効果も期待できる。

ジョリーグッドは、VR技術を活用し、鉄鋼や造船、建設、医療など幅広い分野で会社体験や人材研修用のソリューションを提供する。映像撮影から編集、開発、VR端末や関連機器の導入までワンストップで対応するのが特徴だ。従来、企業PRのためのコンテンツ制作が多かったが、今

春から新たに人材育成向けのサービス「Grow Job VR（クルジョブ・ピアー）」の提供をスタートした。VR研修は低コストで繰り返し安全・技能教育を行うことができるほか、同じ教育プログラムを使用することで教育レベルを均一化できるといった利点がある。独自の行動解析AIを使った効果測定も可能という。すでに造船所での安全教育で採用実績もある。

シンニチロでもVR技術を取り入れた人材育成に向け検討を進める。奥山社長は「VRは安全教育、技能伝承にとっても優れたツールになる」と話し、意欲を見せる。